



PEACEBOAT PEACE おりづるプロジェクト
ヒバクシャ地球一周 証言の航海

Global Voyage for a Nuclear-Free World
PeaceBoat Hibakusha Project

ピースボート
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1
TEL03-3363-7561 FAX03-3363-7562

2017/03/23

第10回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」 ～市民の力で核兵器を禁止する一過ちをくり返さないために～ プロジェクト概要

●概要

NGOピースボートでは、2008年より「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」を行ってまいりました。これまでに170名以上の被爆者とともに地球を周りながら、「核なき世界」へのアピールをしてきました。そして今春、第10回目となる「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」（2017年4月12日（水）～2017年7月25日（火））が横浜港を出航します。

今回の航海では、被爆者3名（広島2名・長崎1名）が世界22カ国23寄港地を訪れ、証言活動を通して核廃絶を訴えます。あわせて、被爆二世2名が被爆者とともに証言活動に参加します。彼らは、直接の被爆体験をもちませんが、家族からの話や広島市の伝承者養成研修を受け、証言するようになった方々です。また、核なき世界の実現のために行動していく若者として2名の「ユース特使」も乗船します。これらの参加者は、日本政府の「非核特使」または「ユース非核特使」として活動します。

●趣旨

今回の航海は、「市民の力で核兵器を禁止する一過ちをくり返さないために」をテーマにします。核兵器の非人道性に関する国際世論を受け、核兵器禁止条約の交渉会議が今年の3月から国連で始まります。ヒロシマ・ナガサキの声が、世界のルールとして実を結ぼうとしているのです。しかし、情勢は予断を許しません。被爆者の平均年齢は80歳を越え、原爆や戦争の記憶は薄れています。核の拡散は進み、紛争と暴力の連鎖は留まることを知らず、国際協調よりも自国中心主義の風潮が巻き起こっています。第二次世界大戦の苦難を知る人がいなくなる中で、戦争や軍事化を肯定する危うい動きも見られます。その中で被爆者の声を実際に届け、多くの国が核兵器禁止条約交渉に参加し貢献するための後押しをしていきます。

各寄港地や船内では、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名（「ヒバクシャ国際署名」）を集めていきます。

●期間

2017年4月12日（水）～2017年7月25日（火） 横浜発着 計105日間
（第94回ピースボート「地球一周の船旅」）

●主催団体

ピースボート

●参加被爆者 3名（広島被爆2名／長崎被爆1名、男性1名／女性2名）
三瀬 清一郎（長崎）、田中 稔子（広島）、土田 和美（広島）

●参加被爆二世・継承者 2名
山村 法恵（広島被爆二世）、砂原 由起子（広島被爆二世）

●参加ユース特使 2名
鈴木 慧南（神奈川出身）、遠藤 愛弓（神奈川出身）

●後 援

広島市 / 長崎市 / 平和首長会議 / 日本原水爆被害者団体協議会
公益財団法人広島平和文化センター / 公益財団法人長崎平和推進協会

●連絡先

ピースボート (担当: 野口香澄、佐久間高志)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562
MAIL: info@peaceboat.gr.jp
<http://www.peaceboat.org/projects/hibakusha/>